



◎栽培履歴及びGAPチェックシートを稲搬入前までに提出して下さい

種もみ消毒のポイント

(塗抹処理法)

①種もみの準備

塩水選	塩水選
うるち 2.9kg	塩水選 2.5kg
もち 2.0kg	塩水選 1.7kg

塩水選を行い、10a当たり3.5kgの種もみを確保する。

水洗い

②塗抹処理

- 種もみ(乾もみ) 3.5kgを入れる
- 薬液を入れる
- ・テクリードCフロアブル14ml
- ・水 91ml

肥料袋に入れてよく混ぜる(肥料袋はよく洗って使用する)

乾燥種もみ量	1kg	3.5kg
テクリードCフロアブル	4ml	14ml
水量(7.5倍希釈)	26ml	91ml

③風乾

- 種もみに薬剤をよく付着させるため風乾する。

目のあらい袋に種もみを入れる。

④浸種

水洗いせずに浸種に移る。

3~4日間は水を動かさない

浸種は、もみがはと胸程度となるまでとする。(もみ35kgに水7ℓが必要)

⑤出芽(積重ね出芽)

- 最上段は、空箱をのせる。
- 被覆するシートが箱に密着しないよう角材等をかう。
- 2~3日後、芽長が1cmになったら苗代に出し、緑化に移る。



⑥苗代での管理(緑化と硬化)

- 育苗シート等で、10日間程度被覆する。
- 箱の底が水につかる程度の水管理とする。
- 夜間、冷え込む日は、深水にする。

●塗抹処理で種子消毒を行った場合は、スミチオン乳剤(希釈倍率1000倍液)を硬化期~移植前日までに育苗箱1箱当たり500mlを散布してください。(イネシンガレセンチュウ防除)

育苗の手順

①育苗箱の準備

10a当たり22箱用意する。(乾もみ160g/箱)

イチバンの800倍液に瞬間、浸漬または散布。(カブレに注意すること)

②床土の準備

くみあい肥2号を10a当たり6~7袋用いる。(1袋4~5箱)

③土入れとかん水

床土は1箱当たり3.7ℓ、2.3cmの厚さにならし、1箱当たり0.8ℓ~1.0ℓかん水する。(かん水0.5ℓにナエファインフロアブル1000~2000倍液を使用すると立枯病の予防ができる)

床土全体にむらなく散布

④は種と覆土

1箱当たり浸種もみ190gを均一にまき、0.5mmの厚さに覆土する。

水管理

(水位の目安)

時期	5月	6月	7月	8月	9月	10月
上						
中						
下						

6/1	6/15	7/20	7/30	8/26	8/31	9/26	10/1
田植え	中干し	出穂	収穫				
主な作業	土づくり 秋耕の実施	田植え 箱施肥	中干し	出穂	落し水	収穫	

使用資材(単位:10a当たり)

土改材散布	種もみ(乾もみ) 3.5kg	ナエファインフロアブル 50g	スコミノン 1~2kg	エバーゴルドフルテ箱粒剤 1kg	植付深 3cm	オリゼート粒剤 3~4kg	中干し7日前までにパダントレボン粒剤 3kg	スタークル豆つぶ 250g	出穂前後14日間は水を切らない	出穂2週間前までに
-------	----------------	-----------------	-------------	------------------	---------	---------------	------------------------	---------------	-----------------	-----------

土づくり (10a当たり)

- メタンガス発生抑制のため、刈り取り後、早期に耕起を行います。
- 稲わらは全量すき込みし冬季に農カアッププラス60kgを施用し耕起します。
- 腐熟促進のため、石灰窒素20kgを施用し耕起しましょう。

病害虫防除

病害虫名	防除薬剤	使用時期
ウンカ類	ツマグロコバイ	は種時(覆土前)~移植当日
コブノメイガ	フェルテラゼクサロン	
イネツトムシ	育苗箱 1箱当たり50g	
フタオビコバヤ	白葉枯病	は種時(覆土前)~移植当日
紋枯病	エバーゴルドフルテ箱粒剤	
育苗箱 1箱当たり50g	白葉枯病	
ウンカ類	オリゼート粒剤	移植後及び出穂3~4週間前(但し、収穫14日前まで)
いもち病	3~4kg (10a当り)	
もみ枯病	パダントレボン粒剤	収穫30日前まで
ツマグロコバイ	3kg (10a当り)	
カメムシ類	スタークル豆つぶ	出穂後7~10日まで 収穫7日前まで
	250g (10a当り)	

ジャンボタニシ対策

被害	移植直後のやわらかい苗を食害される
対策	卵を見つけたら水の中に落とす
防除薬剤	スクミノン (10a当たり1~2kg)
使用時期	移植直後 苗が小さい頃に散布 (2回以内、収穫60日前まで)

JA米の三要素

- ① 種子更新された種子で生産された米
 - ② 栽培履歴記録と生産者GAPチェックシート
 - ③ 農産物検査を受けた米
- 以上3要件を満たしたお米で、基準を満たさない場合はそれぞれ区分して集荷・精算を行います。

施肥基準

施肥体系	基肥	穂肥 (10a当たり)	
		第1回	第2回
移植栽培 (全量基肥)	中生用 ひとまきくん スーパーL (16・5・5)	50~60kg	黄色が強い場合に 出穂13日前に施用しましょう
移植栽培 (分施)	BBケイ酸 加量入り 034 (10・13・4)	50kg	BBNKエース (16・0・10) 出穂23日前 出穂13日前 15kg 15kg
乾田直播 (全量基肥)	乾田直播くん (4・1・0・0)	20~25kg	基本的には必要ありません

除草体系

	(10a当たり)	
	田植え前 (直播は入水前)	田植え後 (直播は入水後)
移植	代かきから田植えが長い場合 ダッシュワンプフロアブル 500ml (代かきから田植え7日前まで)	エンペラー1キログラム粒剤 1kg 移植直後~ノビエ3期前まで
乾田直播	出芽前(播種後3~5日後) サターンパロ乳剤 (600~800ml) 水100ℓ 入水前(播種後10日~ノビエ5期前) クリンチャーバズME液剤 (1000ml) 水100ℓ	または エンペラー-ジャンボ 250g 移植直後~ノビエ3期前まで 直播の場合は稲出芽期前~ノビエ3期前まで

※畦畔を点検して、漏水箇所は補修しましょう。